

1-6

演題	特別養護老人ホームにおける看取りケア
副題	～目指す看取りケアと改善すべき問題点～

看取りケア
特養

法人名	社会福祉法人 若竹大寿会
施設名	若竹苑

発表者名 (職種)	本城谷 さや 介護職員
共同発表者	小池 蘭
共同発表者	
共同発表者	
共同発表者	

都道府県	神奈川県
住所	横浜市神奈川区羽沢町 550-1
TEL	045-381-3232
FAX	045-373-7472
メールアドレス	izena_sin@wakatake.or.jp
URL	

今回の発表施設 またはサービスの 概要	特別養護老人ホーム 通所介護 ショートステイ 居宅介護支援事業 地域包括支援センター
---------------------------	--

研究の目的、PR ポイント

- ・看取りケア確認シートの活用が看取りケアに及ぼした影響とそこから見えるケアの課題
- ・介護士における看取りケアの意識化とメンタルケア

取り組んだ課題

- ・看取り介護実施計画書に沿った看取り期ケアの実施
- ・看取りケア確認シートの活用にて看取りケアのカンファレンスの代用、介護職員のメンタルケア実施
- ・看取りケア確認シートのフィードバックにて看取りケアの課題の追及

具体的な取り組み

期間：2022年7月～2023年3月

対象者：2階フロア 7名 3階フロア 5名

→本施設にて看取った利用者のうち、①看取り介護実施計画書を作成 ②看取りケア終了後に看取りケア確認シートの実施 ①、②の条件を満たした計12名にて考察

具体的方法：

- ① 医師、看護師、家族により看取り一か月ケアプラン対応となった利用者に対して7部署の担当者が「看取り介護実施計画書」の作成
- ② 看取りケアの実施
- ③ ケアに関わった介護職員に対し「看取りケア確認シート」の記入
- ④ 結果のフィードバックを実施
参加職員：若竹苑 入所フロア勤務介護職員
部署間連携：ケアマネ、看護師、栄養士、歯科衛生士、機能訓練士

活動の成果と評価

看取りケア確認シートの使用により得られた効果

- ・看取りケアの意識化による介入増加
- ・ご利用者の個人に寄り添った「その人らしさ」を重視したケアの実施
- ・看取りを振り返ることにより、看取りケアを行う

た職員に対するメンタルケア

見られた課題

- ・グリーフケア不足
- ・看取りケアの標準化
- ・介護職員間での情報共有

活かすべき要点

- ・ご利用者の嗜好調査の実施→「その人らしさ」を深める
 - ・ご家族との連携
- 自己評価
- ・看取りケアの見直し
 - ・ご利用者の嗜好調査・グリーフケアの実施

今後の課題

グリーフケアの実施 利用者の嗜好調査 看取りケアの標準化

参考資料など

島田千穂・伊東美緒・平山亮・高橋龍太郎（2015）「看取りケア経験の協働的内省が特別養護老人ホーム職員の認識に及ぼす影響」社会福祉学 56（1） 87 - 100.

坂下恵美子・西田佳世・岡村絹代（2013）「特別養護老人ホームの看取りに積極的に取り組む看護師・介護士の意識」南九州看護研究誌 11（1） 1-9.

島田千穂「看取りの振り返りを有効に実施するためのガイド 反照的習熟プログラムのすすめ」東京都健康医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム 終末期ケアのあり方